

にのみや

3
2016



Facebookを始めました！

町内で開催するイベントや
事業を随時発信しています。

皆さんの「いいね！」をお
待ちしています！



●今月の紙面

- 防災特集…………… ②～④
- 児童・生徒の心と体の健康を目指して…………… ⑥
- 駅北口に保育所分園が開園します…………… ⑦
- みんなで一緒に健康づくり！…………… ⑧
- フォトピックス…………… ⑩～⑪

<http://www.town.ninomiya.kanagawa.jp/>

二宮小学校の朝のラジオ体操 (平成28年2月24日撮影)

始業前に外遊びをしている1～6年生の児童
たちは、音楽が流れるとラジオ体操を始めます。

二宮小学校では誰もが気軽にできる運動と
して、朝のラジオ体操に取り組んでいます。
(6ページに関連記事)



震災後の南三陸町

いつ起こるか分からない 災害にそなえよう

3月11日で東日本大震災から5年が経ちます。震災後は防災意識が高まりましたが、時間が経つにつれ災害に対する危機感が薄らいできてしまっていないでしょうか。この機会に改めて考え、いつ起こるか分からない災害に備えましょう。

災害時の 3つの《助》

災害時には、自分の身を守る『自助』、地域でお互いに助け合う『共助』、行政支援の『公助』の3つの《助》が重要となります。

自助

●備蓄をしよう

災害が発生した際、行政や防災機関などからの支援が開始されるのに約3日かかると言われており、その期間分の生活用品は自分で準備する必要があります。

必要となる主な備蓄用品

◆非常食・水

カンパン、缶詰、飲料水（ペットボトル）、缶切り、はし・フォーク・スプーンなど

◆医薬品類

キズ薬、バンソウコウ、包帯、鎮痛剤、かぜ薬、胃腸薬、生理用品など

◆衣類など

下着、上着、タオル、軍手、洗面用具、雨具など

◆貴重品

保険証、免許証、通帳・印鑑、現金、証書・権利書など

◆小物・道具類

懐中電灯、携帯ラジオ、乾電池、ライター・マッチ、ロウソク、ロープ、簡易トイレなど

◆その他

乳幼児がいる場合▼

粉ミルク、ほ乳びん、紙おむつ、母子手帳など

要介護者がいる場合▼

紙おむつ、介助用品、入れ歯など



災害時に安否情報のやりとりができる伝言板『災害用伝言ダイヤル（171）』の利用も効果的です！

など

●家族で話し合っておこう
災害はいつ起こるか分かりません。いつ発災しても大丈夫なように、家族で情報共有方法などを話し合っておきましょう。

◆家の中の安全な場所の確認
◆電話が繋がらなくなった際の連絡手段の確認
◆避難場所や一時集合場所の確認

共助

●地域の協力が不可欠

大規模な災害の救助や避難などには、隣近所の助け合いが大切です。

発災直後は防災関係機関などの支援にも限界があります。そんな場合に助け合うことができるのが隣近所です。

普段からの声掛けや地域活動への積極的な参加など、いざという時に助け合えるつながりを持ちましょう。



●防災訓練に参加しよう

災害時に適切な行動をとるためには、災害を想定した訓練を体験し、反射的に体が動くようにしておくことが重要です。
日ごろから地域などの訓練に積極的に参加しましょう。



女性の『力』がみんなを守る！

女性だけで結成されている防災隊『メーブルリーブス』では、災害時に活用できる知識や技術を習得するため定期的に訓練を行っています。自分や家族、地域を守るため、一緒に活動しませんか。

訓練日 毎月第3土曜日10:00~12:00
訓練場所 消防本部2階防災対策室

公助

●災害時に備えています

公助とは役場や消防・警察、国、自衛隊などによる救助活動や支援助物資の提供などの公的な支援をいいます。町には次のような備えがあります。

●災害時用備蓄品を整備しています

災害時の一時的な使用を想定し、広域避難所（小中学校を含む）などに災害時用品を備蓄しています。

◆非常食

◆保存飲料水

◆毛布

●災害協定を結んでいます

町では災害時に速やかに応急対策活動がとれるよう、他市町村や協力企業などと協定を結んでいます。

主な災害協定

- 平塚市・大磯町・二宮町の災害相互協力に関する協定
- 災害時医薬品や物資(食料品・生活必需品)の備蓄に関する協定(東海大学大磯病院・大型スーパーなど)

一人一人できると

『自助』『共助』『公助』

の前に、災害時にどれだけの情報を『知っているか』が生死を大きく左右します。災害はいつ起きるか分かりません。事前に一人一人ができることを確認し、対応しておきましょう。

●メール配信サービスやツ

ッターの登録をしよう

町では、メールやツイッターで災害時の緊急情報などを配信しています。あらかじめ登録・フォローをしておいてください。

□生活・安全情報

メール配信



□防災・安全安心

情報ツイッター



※通信費などは利用者負担となります。



●世帯状況確認票を記入しよう

住民の名簿や手助けが必要な方の情報を災害時に収集することは困難です。町では地区と連携し、地区(自治会)名簿などを災害時に安否確認名簿として活用できるよう世帯状況確認票を導入し、統一化を進めています。

災害時に備え、記入をお願いします。

※世帯状況確認票の詳細は4ページで紹介しています。

●海抜表示を確認しておこう

町内約160か所に海抜表示板を設置しています。あらかじめ自宅周辺の海抜を把握し、津波発生時の安全確保などに活用してください。

また、海に近い地区の方は、地震を感じたらすぐに海岸から離れ、高台に避難しましょう。

災害時に協力していただける看護師を募集しています

災害により負傷者が出た際、中郡医師会二宮班などの協力を得てラディアンに中央応急救護所を開設しますが、休日や夜間に発災した場合に看護師の不足が予測されるため、災害時に協力いただける町内在住の看護師を募集しています。看護師の登録にご協力をお願いします。



※詳細はお問い合わせください。

問い合わせ

防災安全課危機管理・くらし安全班

災害に強い地域づくり

世帯状況確認票の導入について

災害に備えた地域づくり

町では、災害に強い地域づくりを目標に、行政・住民・関係機関がそれぞれ必要となる訓練に加え、情報伝達などの連携訓練を行う総合防災訓練を実施しています。

また、地区では状況に合わせた自主防災組織による防災訓練が毎年実施されています。



安否確認の重要性

過去の災害から、安否情報が災害時において重要なことが再認識されています。

町でも、平成24年度から町内全地区で安否確認訓練を取り入れて災害に備えています。

安否確認訓練とは

防災直後から終始必要となる安否情報を集約する訓練です。

被災時に一人一人が自身（世帯）の安否情報を発信することから始まり、自主防災組織がその情報を把握・整理することで防災直後の支援体制（共助）や、災害対策本部との連携による公的支援（公助）につなげます。

災害時の安否確認が迅速・正確であるほど、減災を図ることができます。

世帯状況確認票の導入

町では地区（自治会）と連携して町内統一規格の世帯状況確認票を導入し、各地区で利用する名簿を統一化して平常時から使用することで、災害時における安否確認名簿としての活用や要支援者の把握などの利便性向上を図るとともに、組単位で相互支援のできる地域づくりを推進しています。

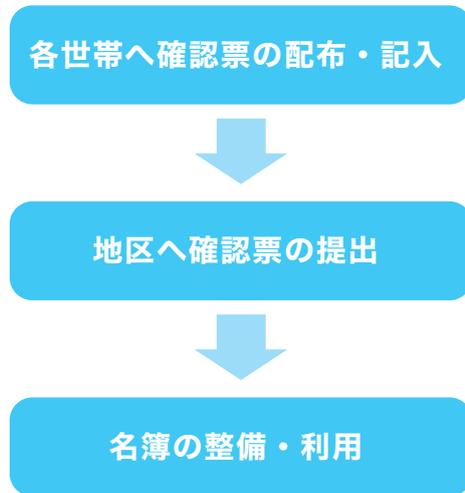
※平常時には地区名簿として利用し、災害時には安否確認および災害対策に活用できるよう、全地区共通の様式を利用します。

問い合わせ

防災安全課危機管理・くらし安全班



◆名簿運用の流れ◆



※名簿は1年ごとに更新します。

世帯状況確認票

《記入情報》

- 基礎情報（地区名、世帯主名、電話番号、住所など）
- 相互支援や公的支援に必要な情報（世帯人数、年代、援助必要者人数、男女の別など）
- ※平常時は地区で管理し、災害時には安否確認や地区活動に利用されます。
- ※名簿は1年ごとに更新し、情報は適切に廃棄されます。



みんなでつくろう！ 住みよいまち！

住民の笑顔を守る！ 地区長連絡協議会

地区長連絡協議会は、町内20地区の代表者(地区長)により構成される組織で、安全・安心な住みよいまちづくりを進めるため、地区間での情報を共有し、地域の活性化を図っています。



住みよいまち

「住みよいまち」であるには、「困ったときに助け合える近所付き合ひ」が重要です。

災害時や非常時の際に助け合える関係であるためには、普段からのつながりがないよりも大切になります。

つながりのあるまちづくり

各地区では、希薄になりがちな近所付き合ひや住民同士のつながりを強化するため、納涼祭や餅つき大会、懇親旅行などを企画しています。

日ごろから顔を合わす機会があれば、気軽に助け合える関係を築くことができます。



情報を伝える

各地区で広報紙や回覧を配ることにより、町や地域のお知らせなどの情報が多くの方に伝わるようにしています。

また、地区内での情報共有を図り、地区における要望を取りまとめ町へ提出しています。

◆みんなで地域づくり◆

隣近所での助け合ひや思いやりの気持ち、将来にわたって住みよい地域づくりにつながります。

※地区(自治会)への加入方法などはお問い合わせください。



自主的な研究会

地区長連絡協議会では、地域活動活性化を図るため、今年度は次の3つの部会に分かれて自主研究をしました。

◆地域防災研究会

自主防災について研究し、「地区防災組織マニュアルの作成手引き」を整備しました。また、この手引きを基にした自主防災組織の体制構築方法を提案しました。

◆地域研究会①

地域包括ケアシステム構築にあたり地域の高齢者を支援する体制構築方法などを研究し、計画のスケジューリングや地域包括支援センターのあり方などを提案しました。

◆地域研究会②

観光による町の活性化をテーマに、町内の観光資源やその活用方法について研究し、軽便鉄道跡地を活用したウォーキングマップ案などを示しました。



町へ提出された研究内容は、各担当課において課題の解決や改善に向け活用されています。

問い合わせ

町民課地域支援班

長野県高山村との地域間交流事業

地区長連絡協議会と町が協力し、長野県高山村と15年にわたり交流しています。

町の地引き網体験や高山村の高山まつりへの参加など、互いの地域を訪れ交流を深めています。



児童・生徒の心と体の健康を目指して

近年、深夜におよぶSNS、ゲームなどの利用による生活習慣の乱れや、日常的な身体運動の減少などによる子どもの健康面への影響が心配されています。

体を動かそう

小・中学校の体育では、「生涯にわたって運動に親しむ」ことを目標にしています。

運動の楽しさに触れたり、運動する機会を増やしたりするため、体育の授業において準備体操にプラスした運動を取り入れ、運動量とバリエーションを確保しています。



●小学校

朝のラジオ体操や体育委員会による体育集会、休みの時間の延長など、各校で工夫して取り組んでいます。



準備運動になわとびをプラスしています（山西小学校）

●中学校

生徒が球技大会やスポーツウィークなどを企画・運営し、体を動かす機会を作っています。



今年度は、バドミントン大会を企画しました（二宮中学校）

IT機器との付き合い方

心身の健康には、運動だけでなく十分な睡眠やバランスの良い食事、安心して過ごせる環境が必要です。

近年、スマートフォンなどの長時間利用による生活習慣の乱れやネット依存、ネット犯罪の被害が広がっています。スマートフォンなどを持つていない子どもでも、保護者の知らない間にゲーム機や音楽プレイヤーなどでインターネットを利用していたという事例があります。

進学・進級を機にお子さんにスマートフォンを持たせる家庭もあると思いますが、IT機器とどのように付き合えばよいか、自分で判断して行動できるように、家庭でも話し合い、ルールを設定してみましょう。

教育総務課指導班

チェックしよう！インターネット利用ルール

- 使用する時間・場所を決める
- フィルタリングを設定する
- ネット上に個人情報を書き込まない（自分も他人も）
- 匿名だからといって、うそやうわさを書き込まない
- ネット上の情報をうのみにしない
- 安易にメールを開いたり、転送したりしない
- IDやパスワードの管理を徹底する
- 知らない人と電話やメール、メッセージの交換をしない
- 使用するサイトやアプリ、課金について保護者へ相談する
- 下着姿や裸の写真を撮らない、撮らせない、送らない
- 困ったことがあれば、すぐに保護者に相談する

（参考）

- ◆警察庁「STOP！ネット犯罪ーあなたのお子さんは大丈夫!?ー」
- ◆政府広報オンライン「あなたのお子さんは大丈夫!?スマホ、携帯にご注意を！ネット犯罪の落とし穴」
- ◆人権教育啓発推進センター「あなたは大丈夫？考えよう！インターネットと人権〈改訂版〉」

学校でも啓発活動をしています！

- 外部講師として携帯電話事業者を招いた児童生徒向け講話会の開催
- PTA総会や中学校の新生保護者説明会時における、警察官や少年補導員の方を招いた説明会の開催

など



悩む前に子育て相談を利用しよう！

春は、子どもの進級や進学など新生活への期待が高まる一方で、生活の変化への不安やストレスを感じる季節でもあります。不安に思うことなどがあれば、早めに相談しましょう。

よくある相談

子どもが保育園や幼稚園、学校などに進学すると、子どもだけでなく親も新しい環境に置かれるため、次のような不安を持つ場合があります。

●相談例

- 子どもが保育園や幼稚園、学校に馴染めるか不安だ
- 子どもが保育園や幼稚園、学校に行きたがらない
- 子どもが今までできていたことができなくなってしまう
- ほかの子どもと自分の子どもの成長が違う気がする
- 育児がうまくいかずイライラする など

まずは相談しましょう

悩みは誰もが感じるものです。思い悩む前に、まずは相談してみましょう。

相談窓口一覧

■子ども育成課

(☎71-3311)

- ・相談できること
- ・一般相談、育児・発達相談、行政サービス相談 など

・時間

8時30分～17時15分

■保健センター

(☎71-7100)

- ・相談できること
- ・栄養・歯科などの健康面を中心とした相談 など

・時間

8時30分～17時15分

■子育てサロン

(栄通り☎71-1120、

百合が丘☎70-3164)

- ・相談できること
- ・子育ての相談 など

・時間

9時～16時30分

相談できる

子育て仲間を作ろう

町の子育てスペース「でんでんむし」「かるがも親子」は、同じ年齢のお子さんを持つ保護者が自由に集まり、子育て仲間が作れる場所です。

また、保健師などがいるため、健康や発達についての相談もできます。

申し込みは不要ですので、お気軽にお越しください。

◆ところ

保健センター

※日程などの詳細は広報にのみやお知らせ版3月号をご覧ください。

問い合わせ

子ども育成課育成相談班

4月より

駅北口に保育所分園が開園します

現在、町内には公立1園、私立3園の保育所がありますが、4月から保育所分園が新たに1園開園します。

■みちる愛児園駅前ナーサリー

開園日

平成28年4月1日(金)

所在地

二宮823-8

(旧ITふれあい館)

設置・運営法人

社会福祉法人 寿考会

入所対象年齢

0歳6か月児～

3歳未満児

※年度途中で3歳を迎えた方は年度末まで入所できません。

定員

20名

開園時間

月～土曜日

7時15分～19時

(土曜日は16時まで)

問い合わせ



駅前ナーサリー保育室 (乳児室)

※申込方法などの詳細は町ホームページをご覧ください。さ。

◆町内保育所案内◆

《公立》1園

・百合が丘保育園 (定員90名)

《私立》4園

・二宮保育園 (定員90名)

・梅花保育園 (定員90名)

・みちる愛児園 (定員60名)

・みちる愛児園駅前ナーサリー (定員20名)

問い合わせ

子ども育成課子育て支援班

みんなで一緒に健康づくり！

町では、平成26年度に「二宮町健康増進計画・食育推進計画 豊かな自然で育む健康な心とからだくみんなどつくる健康長寿の里二宮」を策定しました。この計画では生涯を通じて健康づくりによる健康寿命の延伸を目標に、町民一人一人の健康づくりの取り組みが町全体へと広がり、「健康長寿の里」が実現できるように定めています。

健康相談・健康教室

町職員などが地域に出向き健康相談や健康教室を実施しています。

●健康相談

健康に関する相談を保健師や管理栄養士、歯科衛生士などが行います。



平成27年度に開催した健康教室

地区	テーマ
越地・釜野	「食べて元気 栄養改善」 体組成測定
富士見が丘・松根	「血管力アップで元気生活」 血管年齢測定
上町・中町	「あなたの体内年齢を知ろう」 血管年齢測定と健康劇
下町	「あなたの体内年齢を知ろう」 骨密度測定と健康劇



越地・釜野地区で開催した健康教室

保健センターでは、いつでも健康で元気に過ごせるよう皆さんの健康づくりのお手伝いをしています。健康相談や健康教室を希望する際はお気軽にご連絡ください。

■対象

町内で活動している団体など

■申込方法

保健センター窓口へ申請書を提出

※申請書は保健センター窓口にあります。

■申込期間

通年

問い合わせ

保険医療課医療予防班

(☎ 71-7100)



ごみの出し方

スプレー缶やガスボンベは「空き缶類」へ



スプレー缶やガスボンベが「破碎ごみ」に混入

破碎ごみの中には依然としてスプレー缶などが紛れています。

破碎ごみは、平塚市の粗大ごみ破碎処理場で細かく砕きます。スプレー缶などが破碎機に入ると爆発事故や火災の原因となり、施設が破損するだけでなく、人命に関わる大事故にもつながります。

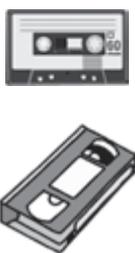
スプレー缶などは中身を使い切り、穴を開けてから「空き缶類」で出してください。

破碎ごみの出し方再確認

「破碎ごみ」で出せるごみは、1人で持ち運ぶことができ、1番長い辺が1m（棒状・板状のものは2m）までの硬いものです。プラスチックの硬い硬いプラスチック製品
・ガラス・陶器製品
・1人で持ち運ぶことができる家具
・スーツケース、カバン、傘、かみそりなど
（金属やプラスチックなどの混合物）

間違えやすいもの

ビデオやカセットテープなどは、テープが破碎機に絡まり故障の原因となりますので、必ず「可燃ごみ」で出してください。



問い合わせ

生活環境課生活環境班



広報にのみやの原稿提出日をご確認ください

『広報にのみや』は次号より、従来の『広報にのみや』と『広報にのみやお知らせ版』を統合して毎月25日の発行となります（4月号は3月25日発行）。統合に伴い、各種団体の原稿提出期日と提出方法を下記のとおり変更しましたのでご注意ください。

《各種団体の原稿提出期日・提出方法》

掲載したい月の前々月15日までに『広報にのみやじょうほう館掲載申込書』と原稿(任意書式)を企画政策課へ提出してください。（【例】5月号（4月25日発行）に記事を掲載したい場合は3月15日（火）までに提出）

なお、提出期限までに詳細が決まらない事業などについても、期日までに概要を提出いただき、後日詳細を伝えていただくことで対応できる場合がありますのでご相談ください。

※『広報にのみやじょうほう館掲載申込書』は町ホームページからダウンロードできます。



☎ 企画政策課広報統計班



大磯警察署だより



交番や駐在所に勤務する警察官の活動の一つに「巡回連絡」があります。巡回連絡では皆さんの家庭や会社などを訪問し、事件や事故の情報を提供するほか、警察に対する相談や要望などを伺っていますのでご連絡ください。

◆このような相談も受け付けています◆

- ・不審な人がうろついているのでパトロールを強化してほしい
- ・迷惑駐車などで困っている
- ・おどされたり、嫌がらせを受けたりしている

など

☎ 大磯警察署 (☎72-0110)

犯罪発生件数

種別	1月
自転車盗	1
万引き	1
車上狙い	1
その他の刑法犯	6
合計	9

町の人口 (平成28年2月1日現在)

総数	28,480人	(+4)
男	13,752人	(+4)
女	14,728人	(0)
世帯数	11,577世帯	(+5)

()内は前月比

※平成22年国勢調査確報値を基礎にしています。

善意の寄付に感謝

西田 高穂 様
日暮 正樹 様
小山 和伸 様
小澤 直幸 様
所 信行 様



(公社) 神奈川県LPガス協会湘南支部 様

ありがとうございました。

町制施行80周年記念事業

オカリーナ波の会 ファーストコンサート

2月13日(土)



オカリーナ波の会ファーストコンサートがラディアンホールで開催されました。早春の菜の花をイメージしたオリジナル曲「菜の花の里」などが披露され、優しい音色が会場を包み込みました。

第62回文化財防火デー

1月30日(土)



文化財を火災から守るため、文化財防火デーに合わせて消防団や教育委員会、浄源寺、一色地区が合同で消防訓練を実施しました。

当日はあいにくの雨模様でしたが、各団体から約50名が参加し、消火器の取り扱い訓練や文化財搬出訓練のほか、消防隊による消火訓練を行いました。

第12回菜の花ウォッチング

1月9日(土)~2月14日(日)



今年で12回目を迎えた吾妻山菜の花ウォッチングは天候にも恵まれ、県内外から多くの方が訪れました。イベント初日から見事に満開を迎えた6万株の菜の花と雪化粧をした富士山のコラボレーションに、多くの方が魅了されていました。また、期間中には地場産品販売会やポールウォーキング、雛の吊るし飾り展、ふれあいの湯などさまざまなイベントが行われました。



**第70回市町村対抗
かながわ駅伝競走大会**

2月14日(日)



町村の部 2年連続優勝!

町村の部 順位

順位	町村名	総合タイム
1	二宮町	2 : 49 : 42
2	箱根町	2 : 49 : 51
3	葉山町	2 : 51 : 41

第70回市町村対抗かながわ駅伝競走大会が開催され、二宮町代表チームが町村の部で見事優勝を果たし、2連覇を達成しました。また、総合順位も昨年度の16位から1つ順位を上げて全30チーム中15位と好成績を残しました。

**第12回
ラディアンピアノマラソンコンサート**

2月27日(土)



世界の名器「スタインウェイ」で参加者が思い思いの曲を演奏しつないでいく、第12回ラディアンピアノマラソンコンサートがラディアンホールで行われました。87組が出演し、ホールにきれいな音色を響かせました。

**ラディアン花の丘公園
桜の植樹**

2月2日(火)



ラディアン花の丘公園で桜の植樹が行われました。NPO法人「自然への奉仕者・樹木医協力会」から苗木約50本を寄贈いただき、百合が丘保育園の園児が元気に声を上げながら多目的広場の北側斜面部分に苗木を植えました。

下水道作品コンクール

下水道作品コンクール（（公財）神奈川県下水道公社主催）の、作文の部（応募数97点）で二宮小学校の熊澤夏希さんが最優秀賞を受賞し、表彰式で朗読しました。また、書道の部（応募数3,665点）では山西小学校の飯島かほさんが入賞しました。このコンクールは相模川・酒匂川流域21市町の小学4年生を対象に毎年実施しています。

入賞した2人の作品は、平成29年1月末まで下水道公社酒匂管理センター（小田原市西酒匂1丁目1-54）に展示されます。ぜひご覧ください。



飯島かほさん
(山西小学校4年生)



熊澤夏希さん
(二宮小学校4年生)

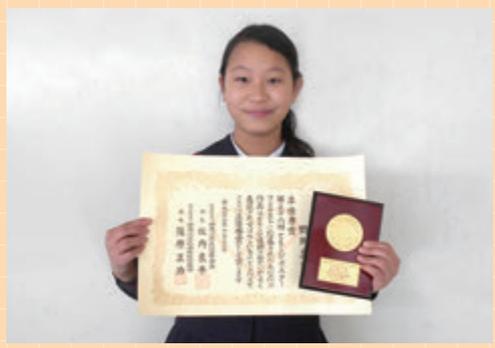
文化財保護ポスターコンクール



吉田将吾さん (二宮中学校2年生)

神奈川県世界遺産登録推進委員会主催の第44回文化財保護ポスターコンクールにおいて「わたしたちの文化財」部門で二宮中学校の吉田将吾さんが入賞しました。

ともしびポスターコンクール



鶴岡真由さん (二宮中学校3年生)

神奈川県社会福祉協議会・神奈川県共同募金会主催の第36回ともしびポスター・第29回ともしび絵本コンテストのポスターの部(中・高生)において二宮中学校の鶴岡真由さんが準優秀賞を受賞しました。

▶二宮産菜の花のおいしい給食!◀

2月9日の学校給食に二宮産菜の花を使った「シーフードチャウダー」と二宮産みかんを提供しました。学校給食センターでは、今後も学校給食に地域の特産物を使った安全でおいしい給食を提供します。



レシピを確認できます

